

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業		課題研究	2	専修4	必修	講義	演習	実習	その他
						○	○	○	
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
副教材				商業に関する各種資格 ITパスポート試験 基本情報技術者 日商簿記検定試験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ級 FPⅡ・Ⅲ級					
科目概要	(Ⅰ)調査、研究、実験 ①株式会社と証券市場についての調査研究 ②財務諸表分析の調査研究 (Ⅱ)作品製作 ①プレゼンテーション製作 (Ⅲ)職業資格の取得				知識技能	商業科に属する科目で学んだ内容に関連した調査、研究、実験を取り入れ、マーケティング分野/マネジメント分野/会計分野/ビジネス情報分野の各分野について知識技能を修得しているか。			
					思考判断表現	マーケティング分野/マネジメント分野/会計分野/ビジネス情報分野の各分野について、作品制作を行う上で、創意工夫を凝らし、多様な表現方法を取り入れているか。			
					主体的態度	商業科に属する科目で学んだ内容に関連した職業資格について、職業資格を取得する意義、職業との関係、職業資格を制度化している目的などを探究するとともに、その一環として職業資格に関連する知識、技術などについて主体的に職業に関する課題を探究する学習活動を取り入れているか。			
				評価方法	授業内態度、小テスト、授業内課題へ対する取り組み				
前年度履修すべき科目		なし							
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業		ソフトウェア活用	4	専修4	選択	講義	演習	実習	その他
						○	○	○	
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
教科書、検定受験料				日本情報処理検定の文書デザイン検定や日本語ワープロ検定。					
科目概要	1章 企業活動とソフトウェアの活用 2章 情報通信ネットワークの活用 3章 表計算ソフトウェアの活用 4章 データベースソフトウェアの活用 5章 業務処理用ソフトウェアの活用 6章 情報システムの開発 Web教材Monacaを利用したプログラミング言語の学習も行います。				知識技能	企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けている。			
					思考判断表現	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づき、創造的に解決しようとしている。			
					主体的態度	企業活動におけるソフトウェアのあり方・改善方法を自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的取り組みようとしている。			
				評価方法	授業内態度、小テスト、授業内課題へ対する取り組み				
前年度履修すべき科目		情報処理							
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業		ソフトウェア活用	3	専修4	選択	講義	演習	実習	その他
						○	○	○	
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
教科書、検定受験料				ITパスポート試験・基本情報技術者試験					
科目概要	1章 企業活動とソフトウェアの活用 2章 情報通信ネットワークの活用 3章 表計算ソフトウェアの活用 4章 データベースソフトウェアの活用 5章 業務処理用ソフトウェアの活用 6章 情報システムの開発 表計算ソフトウェアExcelの実習 データベースソフトウェアAccess実習			知識技能	企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
				思考判断表現	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づき、創造的に解決しようとしている。				
				主体的態度	企業活動におけるソフトウェアのあり方・改善方法を自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的取り組みようとしている。				
				評価方法	授業内態度、小テスト、授業内課題へ対する取り組み				
前年度履修すべき科目		情報処理							
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業		IT技術	4	専4	選択	講義	演習	実習	その他
						○	○		
教材費・準備物等			進路・資格・興味・関心など						
・とうほう「全商情報処理検定試験プログラミング部門1・2級対応アルゴリズム入門」・			全商情報処理検定試験プログラミング部門1・2級						
科目概要	(1) コンピュータ構成要素 (2) ソフトウェアとマルチメディア (3) 基礎理論 (4) アルゴリズムとプログラミング (5) システム構成要素 (6) データベース技術 (7) ネットワーク技術 (8) 情報セキュリティ (9) システム開発技術 (10) マネジメント系 (11) ストラテジ系 (12) プログラミング言語（疑似言語）		評価観点	知識技能	IT技術に関する基礎的・基本的な知識を習得し、理解しているか評価する。コンピュータ構成要素、ソフトウェア、データベース技術、ネットワーク技術、情報セキュリティなどの各分野における専門用語や概念の理解度を、問題演習や小テストを通じて測る。				
	思考判断表現	IT技術における計算や情報の活用に関して、自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を適切に活用して判断し、表現する能力を評価する。アルゴリズムの学習を通じて流れ図や検索方法を理解し、その知識を用いて、グループでアプリ開発に取り組む過程での問題解決能力や、コンテストに応募できるレベルのアプリを作成する能力を評価する。							
	主体的態度	新しい技術や知識を主体的に学ぼうとする姿勢と、情報を活用する態度を評価する。授業への積極的な参加に加え、基本情報技術者試験や全国商業高等学校情報処理検定プログラミング部門2級の取得、またはコンテストへの応募を目指すなど、自律的に学習を進める意欲と努力を評価する。							
			評価方法	授業態度 分野小テスト 提出物					
前年度履修すべき科目		IT管理							
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態					
商業		財務会計Ⅰ	3	専修4	選択	講義	演習	実習	その他		
						○	○				
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など							
教科書、副教材、電卓 検定受験料及び模擬問題集購入代金				日本商工会議所簿記検定2級							
科目概要	1	課税所得の算定と税効果家計		知識技能	財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている						
	2	株式の発行			評価観点	思考判断表現	会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなどを理解し、企業の実態を総合的に分析する力が身についている。				
	3	剰余金の配当と処分					主体的態度	会計責任を果たす力の向上を目指して適正な会計処理、財務諸表の作成と分析などによる会計情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についている。			
	4	決算手続き									
5	収益の認識基準		評価方法	授業内考査・小テストの成績・課題の提出・学習活動・授業中態度・出席状況を総合して評価する。							
6	本支店会計										
7	合併と事業譲渡										
8	連結会計（資本連結Ⅰ）										
9	連結会計（資本連結Ⅱ）										
10	連結会計（成果連結）										
11	連結会計（連結株主資本等変動計画書）										
12	製造業会計										
13	検定対策演習										
前年度履修すべき科目		なし									
継続で履修すべき科目		なし									

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業	原価計算	3	専修4	選択	講義	演習	実習	その他
					○	○		
教材費・準備物等			進路・資格・興味・関心など					
教科書、副教材、電卓			日商簿記検定2級の取得を目指す					
科目概要	第1編 原価計算の基礎		知識技能	財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている				
	評価観点			思考判断表現	会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなどを理解し、企業の実態を総合的に分析する力が身についている。			
				主体的態度	会計責任を果たす力の向上を目指して適正な会計処理、財務諸表の作成と分析などによる会計情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についている。			
					評価方法	提出物、既習事項小テスト、授業への取り組み等		
総合演習								
前年度履修すべき科目		なし						
継続で履修すべき科目		なし						

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業	財務会計Ⅱ（上級コース）	3	専修4	選択	講義	演習	実習	その他
					○	○		
教材費・準備物等			進路・資格・興味・関心など					
教科書、副教材、電卓			日商簿記検定Ⅰ級の取得を目指す					
科目概要	(1) 財務会計の基本概念と会計基準 ア 財務諸表の作成と表示の考え方 イ 資産負債アプローチと収益費用アプローチ ウ 会計基準の国際的統合 (2) 会計処理 ア 金融商品エ 組織再編と清算・再建 オ 競争秩序の確保 (3) 知的財産と法規 ア 知的財産の種類 イ 知的財産の重要性 (4) 税と法規 ア 税の種類と法人の納税義務 イ 法人税の申告と納付 ウ 消費税の申告と納付 (5) 企業責任と法規 ア 法令遵守と説明責任 イ 労働者の保護 ウ 消費者の保護 エ 情報の保護	評価観点	知識技能	財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている				
			思考判断表現	会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなどを理解し、企業の実態を総合的に分析する力が身についている。				
			主体的態度	会計責任を果たす力の向上を目指して適正な会計処理、財務諸表の作成と分析などによる会計情報の提供と効果的な活用に関心をもって取り組む態度が身についている。				
			評価方法	提出物、既習事項小テスト、授業への取り組み等				
前年度履修すべき科目		簿記、財務会計Ⅰ、原価計算						
継続で履修すべき科目		なし						

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業		管理会計（上級コース）	3	専修4	選択	講義	演習	実習	その他
						○	○		
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
教科書、副教材、電卓				日商簿記検定Ⅰ級の取得を目指す					
科目概要	(1) 管理会計と経営管理 ア 管理会計の目的 イ 管理会計と原価計算との関係ウ 利益の最大化 (3) 業績測定 ア 企業の組織構造 イ 業績測定の方法 (4) 予算編成と予算統制 ア 企業予算の編成 イ 予算統制の方法 (5) コスト・マネジメント ア 標準原価計算 イ 直接標準原価計算 ウ 目標原価計算 エ 活動基準原価計算 オ 品質原価計算 (6) 経営意思決定 ア 経営意思決定の概要			評価観点	知識技能	財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている。			
					思考判断表現	会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業の実態を総合的に分析する力が身についている。			
					主体的態度	会計責任を果たす力の向上を目指し、適切な会計処理、財務諸表の作成と分析による会計情報の提供と効果的な活用に取り組む態度を身につけている。			
					評価方法	提出物、既習事項小テスト、授業への取り組み等			
前年度履修すべき科目		簿記、財務会計Ⅰ、原価計算							
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態					
商業		社会保障と保険（上級）	前期2 後期2	専 4	選択	講義	演習	実習	その他		
						○	○				
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など							
副教材、電卓 検定受験料、模擬問題集購入代金				ファイナンシャル・プランニング技能検定2級（日本FP協会）取得							
科目概要	1	タックスプランニング（2級分野）			評価観点	知識技能	FPに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、ライフプランを助言できる知識・技能を理解している。				
	2	不動産（2級分野）				思考判断表現	各種の計算・分析方法の活用について、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。				
	3	相続・事情承継（2級分野）					主体的態度	FPに関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、そこから得られる情報を活用する態度を身につけている。			
	4	FP協会検定に向け問題演習						評価方法	単元ごとの小テスト、授業時でのワークシート、提出物などにより評価を行う。		
	5	金財の実技（午後）問題演習									
	6	事例研究・考察									
	7	プレゼンテーション発表									
前年度履修すべき科目		社会保障と保険（初級）									
継続で履修すべき科目		なし									